

市立小島保育園及び中島保育園の施設整備について

1 現 状

- ・小島保育園は、昭和57年度（1982年度）の建設で、既に40年が経過し、熊本市公共施設等総合管理計画において公共建築物の目標耐用年数とされる70年の中間を超えており、老朽化が著しく、大規模改修が必要な状況にある。
- ・中島保育園は、平成2年度（1990年度）の建設であり、目標耐用年数の中間年を令和7年度（2025年度）に迎えることとなり、整備方針の検討が必要な時期となっている。
- ・両園は、ともに立地圏域外の比較的遠方から通われる方の利用も多い。
- ・公立・私立に関わらず、近年、障がい児や医療的ケア児の受入れ、一時預かり保育等のニーズが高まっている。

2 課 題

- ・現在地で大規模改修や建替えを行う場合は、工事期間中、仮設園舎も必要となるが、保育環境や保育活動に一定の制限を受けるため、園児にとって負担となる。仮設園舎の設置経費も必要となる。
- ・特に、小島保育園については、敷地形状のため工期が長期に及ぶことから、園児への影響とともに、費用の増嵩につながる。
- ・遠方からの利用者にとって、利便性に優れた立地とはいえない。
- ・障がい児や医療的ケア児の受入れに対応したバリアフリー化ができておらず、一時預かり保育等を想定した施設設備になっていないため、このようなニーズに応えることができない。

3 施設整備に向けた考え方

- ・熊本市公共施設等総合管理計画では、公立保育所の役割や保育需要等を考慮し、施設の適正配置等の検討を進めることとされている。
- ・両園の立地圏域については将来も一定の保育需要が見込まれるが、定員については調整が必要になると推測される。
- ・両園は同一圏域に立地し、大規模改修等の時期が近接しており、園児の負担や利便性など市民サービスの面に加え整備費用の面からも、一体的な整備とした方が効果的かつ効率的である。
- ・圏域において市の未利用地を活用すれば早期の建替えが可能であり、費用面でも有利である。



☆ 立地環境などの条件を踏まえ、旧西部市民センター跡地（西区役所隣接）を候補地として、両園を一体化した施設整備を検討していく。

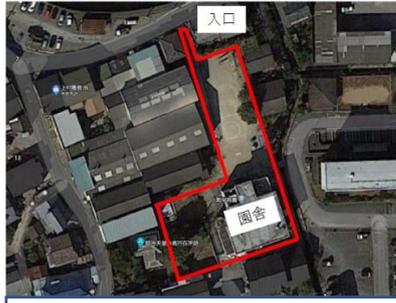
⇒ 裏面参照

<老朽化等の状況>

小島保育園 熊本市西区小島 7丁目 6-7 鉄骨造 2階建 定員：60名（在園児 51名（R5.4現在））



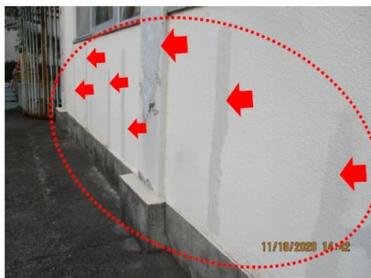
正面



土地が狭く現地での工事が困難



入口部分が狭い



外壁に多数のヒビ、塗装剥がれあり



内壁に多数のヒビあり



職員室の天井に雨漏り、壁のヒビあり

中島保育園 熊本市西区沖新町 675 木造 1階建 定員：45名（在園児 30名（R5.4現在））



正面



保育室の床が劣化し、浮きあり



トイレの劣化

<園の立地及び近隣の私立園の状況>



<両園の利用者の居住地分布>

